



空間内に正四面体 $ABCD$ がある。頂点 A, B は、直線 $l_1: x+y=-1, z=0$ 上にあり、頂点 C, D は直線 $l_2: x=y=-\frac{z-2}{2}$ 上にある。 A の x 座標は B の x 座標より大きく、 C の z 座標は D の z 座標より大きい。

- (1) 辺 AB の中点 E 、および辺 CD の中点 F の座標を求めよ。
- (2) 正四面体 $ABCD$ の 1 辺の長さを求めよ。
- (3) 頂点 A の座標を求めよ。



- (1) l_1, l_2 上の点をそれぞれ $P(s, -s-1, 0), Q(t, t, -2t+2)$ とおく。

$$\begin{aligned} \text{このとき、 } PQ^2 &= (t-s)^2 + (t+s+1)^2 + (-2t+2)^2 \\ &= t^2 - 2st + s^2 + t^2 + s^2 + 1 + 2st + 2s + 2t + 4t^2 - 8t + 4 \\ &= 2s^2 + 2s + 6t^2 - 6t + 5 \\ &= 2\left(s + \frac{1}{2}\right)^2 + 6\left(t - \frac{1}{2}\right)^2 + 3 \end{aligned}$$

よって、 PQ が最小となるのは $s = -\frac{1}{2}, t = \frac{1}{2}$ のときで、

このとき P は E 、 Q は F に一致するから $E\left(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{2}, 0\right), F\left(\frac{1}{2}, \frac{1}{2}, 1\right)$

- (2) 四面体 $ABCD$ は正四面体であり、 E は AB の中点だから $AB:EF = \sqrt{2}:1$ である。

(1)より $EF = \sqrt{3}$ なので正四面体 $ABCD$ の 1 辺の長さは $\sqrt{3} \times \sqrt{2} = \sqrt{6}$

- (3) 直線 l_1 の \overrightarrow{BA} と同じ向きの方方向ベクトルを $\overrightarrow{l_1}$ とすると

$$\begin{aligned} \overrightarrow{OA} &= \overrightarrow{OE} + \overrightarrow{EA} \\ &= \overrightarrow{OE} + \frac{\sqrt{6}}{2} \cdot \frac{\overrightarrow{l_1}}{|\overrightarrow{l_1}|} \end{aligned}$$

$$= \left(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{2}, 0 \right) + \frac{\sqrt{6}}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{1^2 + (-1)^2 + 0^2}} \cdot (1, -1, 0)$$

$$= \left(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{2}, 0 \right) + \frac{\sqrt{3}}{2} (1, -1, 0)$$

$$= \left(\frac{-1 + \sqrt{3}}{2}, \frac{-1 - \sqrt{3}}{2}, 0 \right)$$

よって $A \left(\frac{-1 + \sqrt{3}}{2}, \frac{-1 - \sqrt{3}}{2}, 0 \right)$